

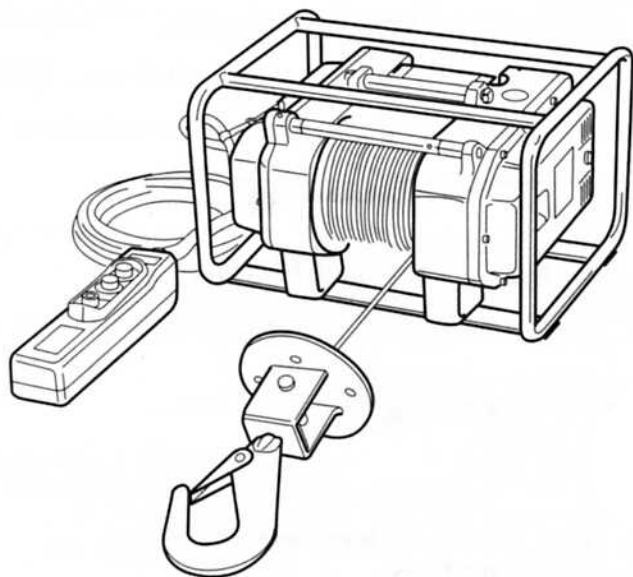
RYOBI®

ウインチ

WI-200N

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～4
- ・各部の名称 4
- ・仕様・付属品・別販売品・用途 … 5
- ・操作方法 5～7
- ・保守と点検 7～9

このたびは、リョービウインチをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

●安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
11. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
12. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
13. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
14. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
15. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
16. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
17. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
18. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障し、場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

19. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
20. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

ウインチご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、ウインチをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

△ 警 告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧でご使用ください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると回転が異常に高速となりけがの原因になります。逆に電圧降下等により、低くなった電圧で使用すると、機械の十分な能力を発揮せず、回路破損の原因になります。
2. ワイヤロープは指定の種類、太さ、長さの物を使用してください。
(ワイヤロープの交換7ページ参照)
 - ・正規のワイヤロープを使用しないと事故の原因になります。
3. ウインチは、水平な場所に確実に設置してください。また、滑車の取付けも確実に行ってください。
 - ・設置が不十分ですと荷物の落下などによる事故の原因になります。
4. 最大吊揚荷重200kgを超える荷重による作業はしないでください。
 - ・荷物の落下などによる事故の原因になります。
5. 荷物は確実に固定してください。
 - ・不安定な荷物の取付けは、荷崩れなどの事故の原因になります。
6. ワイヤロープが乱巻きの状態でご使用になりますと、機械の動作不良、故障だけでなく、ワイヤロープの早期損傷、切断による事故の原因になります。ワイヤロープが正常に巻かれていることを確かめてからご使用ください。
7. 運転中、コードがドラムに巻込まれないようにしてください。
 - ・感電の恐れがあります。
8. 運転中ワイヤロープ、ドラムなどの可動部に手や顔などを近づけないでください。
9. 作業中、吊揚げた荷物の下に人や物を近づけないでください。
 - ・万一の荷物落下による事故の原因になります。
10. 使用中機械の調子が悪かったり、異常音が出た時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げ販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けが、事故の原因になります。
11. ウインチ本体、滑車、ワイヤロープに異常がないか使用前、および定期的に点検、確認してください。(乱巻き防止について4ページ、保守と点検7ページ参照)
 - ・事故の原因になります。
12. ドラムに必ずワイヤロープを3m以上残した状態でご使用ください。
 - ・ワイヤロープを出しすぎますと、ドラムから外れ、けが、事故の原因になります。

13. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
 - ・アース線のない2芯コードですと、感電の原因になります。
14. 事業者の方へ
 - ・本機の操作、滑車の設置等は、「巻上機の運転の業務に係る特別教育」を受けた人に行なわせてください。
(労働安全衛生規則第36条 第11号)

●乱巻き防止について

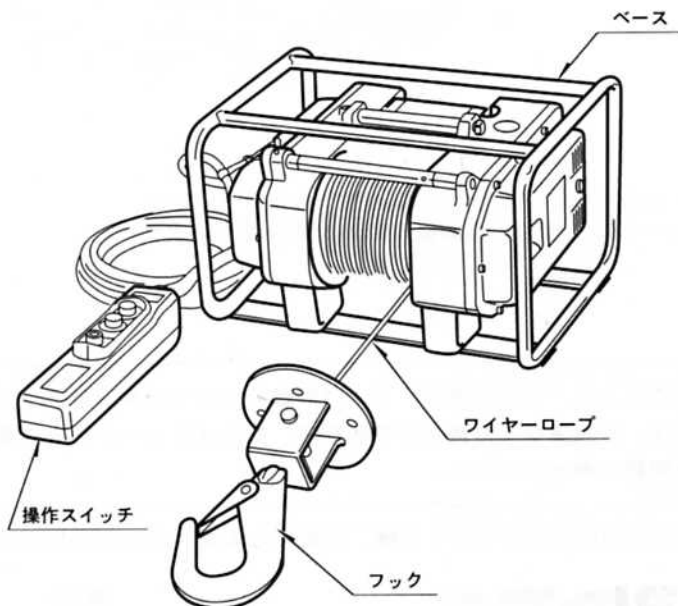
⚠ 警告

・ワイヤーロープが乱巻きの状態でご使用になりますと、機械の動作不良、故障だけでなく、ワイヤーロープの早期損傷、切断による事故の原因になります。ワイヤーロープが正常に巻かれていることを確かめてからご使用ください。

●乱巻き防止には次のことを注意してください。

- 1) ワイヤーロープは常に張った状態で使用してください。
 - ・ワイヤーロープを出し過ぎた場合や、巻直し、交換の際には、ワイヤーロープがゆるまないように、負荷をかけた状態で巻取ってください。
- 2) ウィンチ及び滑車を正しく設置してください。
 - ・ワイヤーロープがドラムに斜めになっていますと乱巻きの原因になります。
(据付方法6ページ参照)
- 3) 損傷のないワイヤーロープを使用してください。
 - ・ワイヤーロープにキンク箇所や、損傷、サビがあると、巻取りが不規則になり、乱巻き、切断の原因になります。直ちに新しいワイヤーロープと交換してください。
(ワイヤーロープの交換7ページ参照)

■各部の名称



仕様

- 電源……………単相・交流 100V 50/60Hz
- 定格電流……………15A
- 消費電力……………1,450W
- 最大吊揚荷重……………200kg
- 吊揚速度……………(200kg吊揚時) 10~15m/分
- ワイヤーロープ……………5mm×40m
- 標準ワイヤーロープ……………5mm×40m
- 操作コード長さ……………5m
- 電源コード長さ……………5m
- 本体重量……………23kg
- 本体寸法……………270×420×350mm

通常付属品

- 操作スイッチ (コード5m付)
- ワイヤーロープ 5mm×40m (本体付)
- スナッチブロック (滑車) 2個

別販売品

- 中継コード10m (オス、メスメタルコンセント付)
- ワイヤーロープ (5mm×50m)

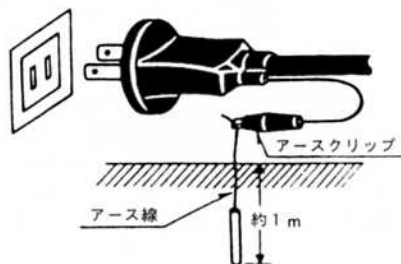
用途

- 機械の設置、商品の積み降し、瓦等の荷揚げ。
- 各種吊揚作業。

操作方法

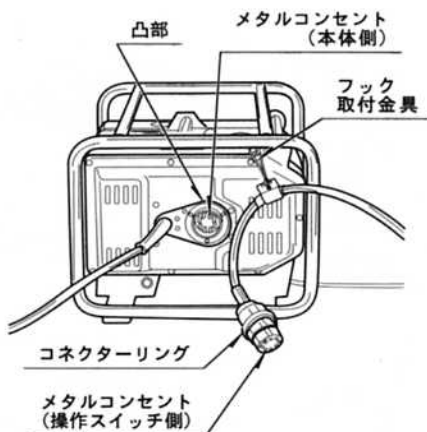
●アースについて

- 感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地 (アース) してください。接地する場合はコード端にあるアースクリップを使用してください。
- アースクリップやアース線に異常のないことを確認してください。テスターや絶縁抵抗計でアースクリップと機体の金属部 (外部) 間の導通を確認してください。
- アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。



●操作スイッチの接続

- 本体側面のメタルコンセント (凹部) と、操作スイッチコード端のメタルコンセント凸部を合わせて押し込み、コネクターリングを右に最後まで回してしっかり固定します。
 - 操作スイッチのコードフックは万一の事故に備えて、必ず本体のコード用リングに取付けて使用してください。
- (注) スイッチコードがドラムに巻込まれないよう注意してください。

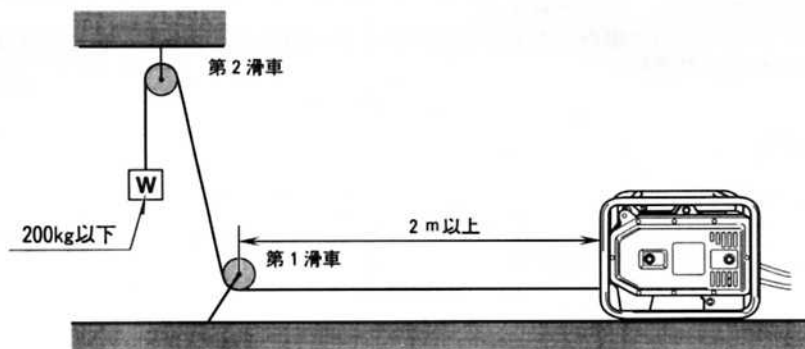
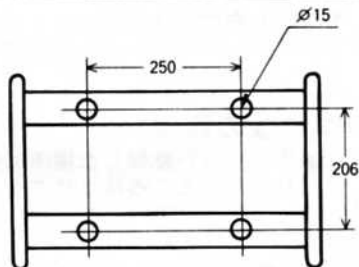


●据付方法

△ 警告

・最大吊揚荷重と本体重量に耐えられるしっかりした場所に水平、確実に設置してください。設置が不十分ですと荷物や本体の落下などによる事故の原因になります。

- ①本体をボルト、ワイヤー等で確実に固定してください。
(注) ボルト止めは、右図の寸法でパイプフレームを固定してください。
- ②第1滑車は地面とワイヤーロープが平行になるように設置し、第1滑車とウインチは2 m以上離してください。
- ③ワイヤーロープはワイヤードラムの下側から引出してください。

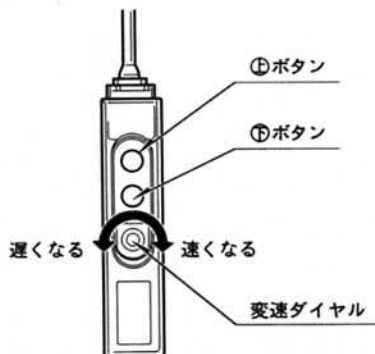


●スイッチの操作方法

△ 警告

・使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

- 巻揚げの時はスイッチのⒶのボタンを、巻戻しの時はスイッチのⒷのボタンを押し続けてください。スイッチボタンを離すと停止します。
- 巻揚げ、巻戻しスピードの調整は、スイッチ下部の変速ダイヤルを操作してください。ダイヤルを右に回すとワイヤードラムの回転は速く、左に回すと遅くなります。
- 巻揚スピードは、200kg吊揚げで10～15 m / 分の範囲で調整できます。

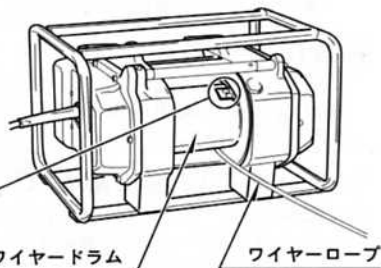
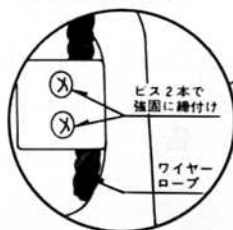


●ワイヤーロープの交換

⚠ 警告

・ワイヤーロープは指定の種類、太さ、長さの物を使用してください。正規のワイヤーロープを使用しないと事故の原因になります。

- ワイヤーロープは指定のものを使用してください。使用ワイヤーロープは、JIS 6×19 O/OA種Zより5mm×40m、5mm×50mを使用してください。
- ワイヤーロープの巻取りは、スイッチのⓍボタンを押し、できるだけ固く乱巻きにならないようにしてください。



●中継コード10m (別販売品)について

- ウインチの操作場所が本体より遠い場合には、別販売品の中継コード (10m) をご使用ください。

■保守と点検

⚠ 警告

・ウインチ本体の各部や、ワイヤーロープに異常がありますと、吊荷落下などの事故の原因になります。ウインチご使用前、ご使用后、および定期的に各部を点検してください。

●ワイヤーロープの点検

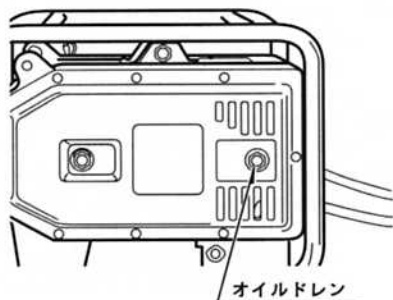
- ワイヤーロープに付着したゴミ、土などをブラシで取除き、サビ止めのため、ワイヤーロープに油、グリスなどを塗布してください。
- ワイヤーロープがドラムにきれいに巻かれているか点検してください。乱巻き、逆巻きを起こしていたり、巻込みがゆるい、喰込んでいるなどの場合には、必ずワイヤーロープをきれいに巻直してください。
- 点検の際、ワイヤーロープに次のような状態を見つけた場合、直ちに新しいワイヤーロープと交換してください。
 - 1) ワイヤーロープの素線が切れている。
 - 2) ワイヤーロープの直径が細くなっている箇所がある。
 - 3) ワイヤーロープの形が著しくくずれている箇所がある。
 - 4) ワイヤーロープにキンク、サビ、腐食などした箇所がある。
 - 5) ワイヤーロープの心網がはみ出している箇所がある。
 - 6) 端末の止め部分の金具などに異常がある。

●安全装置の点検

- スイッチなどが正常に作動しない場合には直ちに使用を中止し、お買上げ販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。

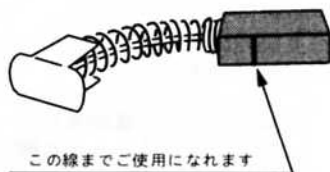
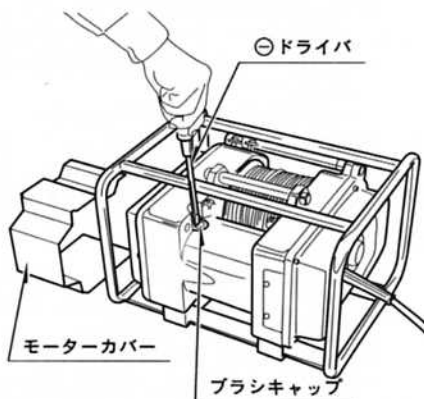
●ギヤーオイル

- カーボンブラシ交換時を目安にギヤーオイルの交換を行なってください。機械の寿命をのばします。
- オイル交換は、オールドレンをお手持ちの六角棒レンチで取外し、古くなったオイルを全部抜き取った後、指定オイル(日本石油 ハイディーゼル S-3 10W)を400cc注入してください。



●カーボンブラシについて

- カーボンブラシは全長の $\frac{1}{3}$ (横に線の入っている部分)までご使用出来ます。時々カーボンブラシを外して点検してください。永らく取替えをしないでいますとカーボンブラシが摩耗してモーター部分が傷つき、焼損することがあります。
- カーボンブラシの交換は、モーターカバーを止めている6本のビスを外し、⊖ドライバでブラシキャップを外しますと簡単に取出せます。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換される時は指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。

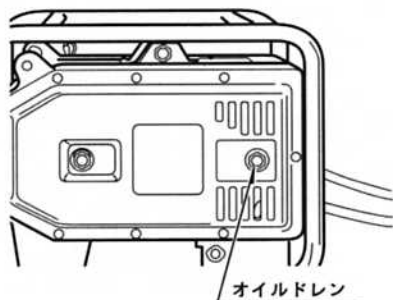


●安全装置の点検

- スイッチなどが正常に作動しない場合には直ちに使用を中止し、お買上げ販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。

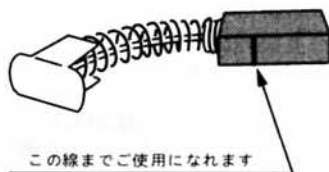
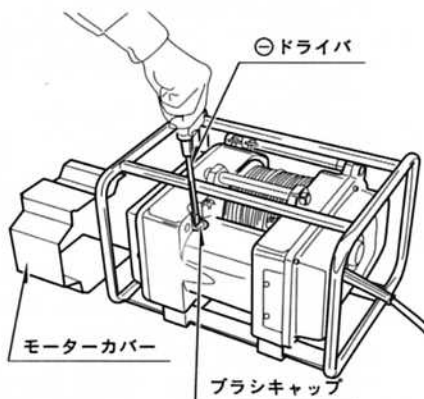
●ギヤーオイル

- カーボンブラシ交換時を目安にギヤーオイルの交換を行なってください。機械の寿命をのばします。
- オイル交換は、オールドレンをお手持ちの六角棒レンチで取外し、古くなったオイルを全部抜き取った後、指定オイル(日本石油 ハイディーゼル S-3 10W)を400cc注入してください。



●カーボンブラシについて

- カーボンブラシは全長の $\frac{1}{3}$ (横に線の入っている部分)までご使用出来ます。時々カーボンブラシを外して点検してください。永らく取替えをしないでいますとカーボンブラシが摩耗してモーター部分が傷つき、焼損することがあります。
- カーボンブラシの交換は、モーターカバーを止めている6本のビスを外し、⊖ドライバでブラシキャップを外しますと簡単に取出せます。
- カーボンブラシは2個1セットです。交換される時は指定のカーボンブラシを使用し、2個とも交換してください。



●各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社